

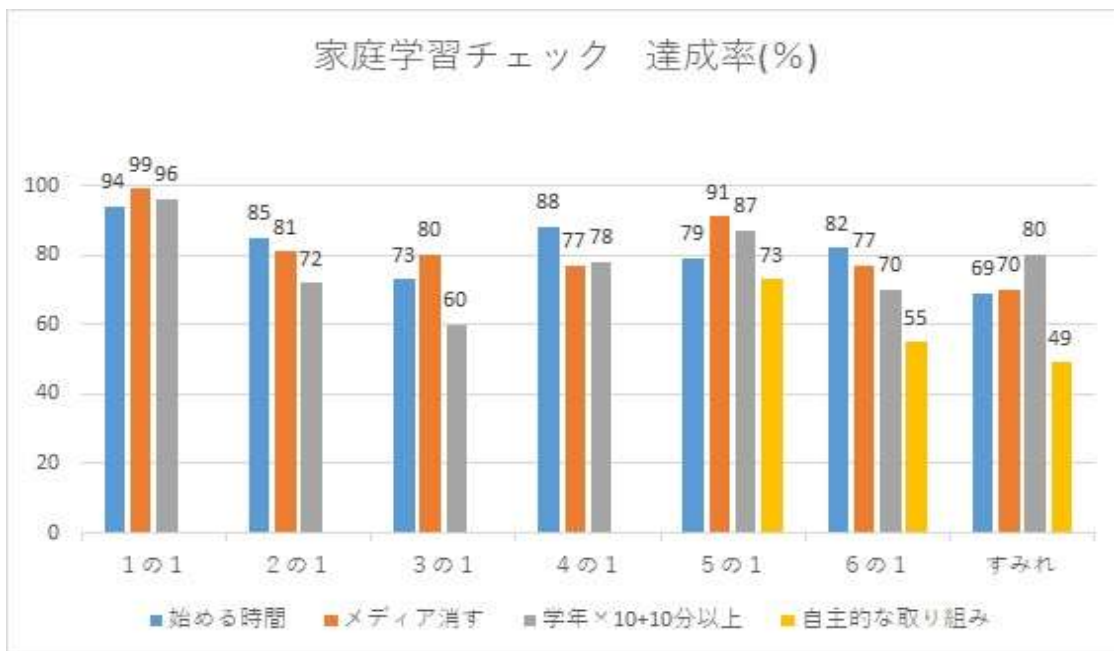
家庭学習チェック 結果報告

先日協力していただいた「家庭学習チェック」の結果がまとまりましたので報告いたします。

調査期間：9月8日（月）～9月12日（金） 5日間

調査対象：1年生～6年生の全校児童

調査方法：各調査項目について、「○ できた」と回答していた児童の割合を求めました。



今回の家庭学習チェックの取組をふり返って…

【良かった点、これからも継続していきたい点】

○「開始時刻」や「メディアを消して学習」することが、子どもたちの中で定着してきているようです。家庭での学習を習慣にするためにも、また学習に集中して取り組める環境づくりのためにも、大切なことですね。また昨年度の調査と比較すると、すべての項目で数値が上昇しています。家庭学習に対する子どもたちの意識が高まってきている証明ですね。これからも続けてほしいと思います。

【これから改善が求められる点】

◇苫小牧市が推奨している「学年×10分+10分」の達成率は学年によって差がありました。高学年になると時間が長くなる上に、習い事や友達関係の広がり、やりたいことが増えることなどから、家庭学習の時間の確保が難しくなってくるようです。しかし、中学校・高校では学習内容が多く、難しくなっていくことを考えると、家庭学習はこれからも必要となってきます。部活や習い事と学習の両立も、今以上に求められてきますので、小学生のうちに家庭学習の習慣をしっかりと身に付けていってほしいと思います。

【学校からのお願い】

◎ご家庭からのメッセージを読ませていただきました。子どもたちだけでなく、ご家庭でも意識して家庭学習の取組を見守ってくださっている様子が感じられ、ありがたく思いました。これからも学校とご家庭とで、お子さんが家庭学習に取り組んでいけるよう、支援を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

◎今回のチェック表をお子さんにお返しします。今一度、親子で家庭学習の取組を振り返っていただければと思います。

